



樹妙だより

No.215 2025/2.3



アクセンチュア株式会社によるデータサイエンス講座
(2024年12月26・27日)

慈悲喜捨

私たちは、物事を始める時に十分な準備をして、慎重に行おうとします。しかし、終わる時はどうでしょうか。物事は、最後を締めくくることが完了になるので、整理整頓や道具の手入れなどが必要になります。また、「明日やろう」と思って、翌日に急用が入って予定どおりに進まないことがあります。締めくくりのポイントは、「間髪をいれずに、心を込めて行う」ことで、昔から今日のことは今日のうちに済ませることが基本といわれています。

江戸時代から明治にかけて活躍した勝海舟は、「事、未だ成らず、小心翼翼。事、まさに成らんとす、大胆不敵。事、既に成る、油断大敵。」と、大事に当たっての心構えを遺しました。これは、「実行前は、細心な調査、研究によって小心と思えるほどに準備する。実行段階では、不安を捨てて一気呵成に行なう。成就後は、油断することなく緊張感を持続する」ということです。この中で大切なことは、「事、既に成る、油断大敵」と、後始末の重要性を説いていることです。物事

が円滑に進むと、詰めが甘くなったり、確認を怠って失敗を招くことがあるから、油断しないで一度確認することが大切だということです。

後始末は単なる後片付けではなく、物事のけじめであり、感謝の気持ちを表すことです。そして、終点であると同時に、次の仕事への出発点になります。後始末をすることによって一つ一つを振り返り、それを積み重ねることが仕事を充実させていきます。

私たちの国は、昔から物を大切に扱い、心を込めた丁寧な仕事をするので世界中から信頼を得てきました。それは、物があることに感謝して、後始末をきちんとする心遣いによってもたらされたものです。そして、その結果として今の私たちの生活があります。

お蔭様ということを感じ、現在の基（もと）をつくった先人たちに倣って、日頃から後始末を心がけましょう。

教頭 金安伸一



樹徳高等学校長
野口 秀樹

4月に1年の計画を立て、胸を膨らませてスタートを切った1学期、早いもので1年の締めくくりになる3学期もまもなく終わろうとしております。

皆さんにとってどんな1年でありましたか。

「やれたね!」と満足のいく1年だった人も多いでしょう。中には後悔先に立たずの人もいるかもしれません。

また巡ってくる次の新しいスタートの時には心してまいりましょう。

3年生は進路決定が成されたと思います。人生の大きなステップ、ジャンプの時、思いっきり腕を振って歩み始めて下さい。期待しております。

私は樹徳中学の開校から20年間、校長を務めておりました。開校当初は職員も生徒も少なかったので、朝早く出勤し門扉開けや職員室や教室に新鮮な空気を入れるため窓開け、講堂の仏様のお参りをして1日をスタートしておりました。

あるとき私が開けた生徒昇降口の狭い引き戸の間から、雀が侵入してしまったのです。

外の激しい雨から逃れて飛び込んできたのであります。しかし今度は外へ出られなくて騒いでいるのであります。

かわいそうなので引き戸を全開にしてみました。それなのになかなか出て行ってくれないのであります。

この雀も冷静になれば、目の前に道が開けているのが解るはずなのですが・・・。

昔、私が中学生に度々話した川柳があります。

「出る穴が あるのに障子の トンボかな」

雀の話とは異なりますが、この情景はすぐに目に浮かぶと思います。

障子の右サイドに20cm位の隙間があって、トンボは無理をせず外へ飛び出しているのにもかかわらず、障子の中央で何度も障子あたって外へ出たい出たいと大きな音を立てている。

見ている者は気が気ではなく、側に行行って障子をさらに大きく開けてあげたりするのです。そのうち心配している人が別の仕事を始めるため、その場を去ってしまう。

次の日そこを通ると、トンボの亡骸が落ちている。

「馬鹿な奴だな、昨日助けてあげたのに」とその人はつぶやく。

この川柳からはそこまで位の想像ができることただと思いますし、こんな情景に出会ったことのある人も多いのではないのでしょうか。

トンボの目は複眼と言って小さな目が1万個ぐらい集まっているので180度見えるのです。すごいのは首を振るだけで360度見えるとも言われております。

そうすると私達人間より、よく見える目を持っていることになります。でも横の障子の隙間が見えない。これはどういう事でしょう。トンボが近視眼であるからです。本当は見える目を持っているのに目の前にあることしか見ない。俯瞰して見れば出口などすぐわかるはずなのであります。

私は雀やトンボの話をしたましたが、この近視眼的蟻地獄(私の造語です)、私はトンボに対して「馬鹿なやつだ」と言いましたが、よくよく考えてみると、人間にもこんな事ってありませんか。

冷静に判断すれば十分に理解できることなのに、目の前のことだけとらわれてしまって、本質が見えずに本当に苦しむ。

恥ずかしながら私にもこんなことが何度もありました。

大人になるに従って、誰しも責任が重くなってまいります。近視眼的蟻地獄に入り込まぬよう、心に自由な遊び心を持ちたいものです。

合掌

三月の法語
学んだことを形にする

二月の法語
夢想する者ではなく
実行する者になる

IACの歳末助け合い募金 150万円に迫る！

『歳末助け合い募金活動を終えて』

令和6年12月2日から24日までの間、私たち樹徳高等学校インターアクトクラブは、歳末助け合い募金活動を行いました。

募金活動は、校内はもちろん、街頭ではヤオコー相生店、境野店さんの前で行いました。約1ヶ月にわたる活動で、お預かりした浄財の総額は、1,497,781円となりました。お陰さまで、多くの方々から浄財をお預かりすることができました。

ご支援いただきました方には、毎年私たちが活動していることを覚えてくださり、一年間蓄えた多額の浄財を募金して下さる方もいらっしゃいました。

私たちは今年度の歳末助け合い募金活動を担当していますが、これは過去の先輩方の活動が街の

方々の記憶に残り、ご支援いただいたものと感じ、改めて多くの方々に支えられている活動であると感じました。

なお、お預かりいたしました浄財は昨年12月25日に、全額、桐生市社会福祉協議会に納金させていただきました。皆様からお寄せいただいたご支援が、それを必要とされる方々に届けられることで、地域の福祉の一層の向上に結びついていくものと確信しています。

毎年の恒例行事となった、樹徳高等学校インターアクトクラブの歳末助け合い募金活動へお寄せいただいた、皆様のご支援に改めて感謝申し上げますと共に、今後ともこの活動へのご支援、ご協力の程、よろしくお願いいたします。

IAC会長

3年S1組 金民知



桐生市社会福祉協議会への納金



多くの市民の皆様にご協力をいただきました

新年の各行事 今年も華ひらく。

□校内書き初め大会

1月9日、校内書き初め大会が盛大に開催されました。「書き初め」を通じて、健全な心身と豊かな心情を養い、併せて伝統文化への理解を深める新年恒例行事です。



□大学入学共通テスト出陣式

新年を迎えた1月17日、大学入学共通テストを前に、毎年恒例の出陣式が行われました。

三年間培ってきた学びの全てを胸に、いざ出陣です。

□鏡開き

1月14日、運動部の生徒を対象に鏡開きが行われました。今年は、高崎健康福祉大学高崎高等学校・野球部監督の青柳博文先生の講演を聞きました。



AI時代に求められる人間の知性

私たちが生きる現代は、人工知能（AI）の発展によって大きく変化しています。自動運転や画像認識、ビッグデータ分析など、AIはさまざまな分野で力を発揮し、人間の生活を便利にするだけでなく、社会の仕組みそのものを塗り替えてつづいていくのです。高校生のみなさんが社会に巣立つ頃には、AIはさらに進化し、今とは比べものにならないほど多くの領域で用いられているでしょう。しかし、そのような時代においてこそ、改めて「人間にしかできないこと」「人間ならではの知性」が見直されることとなります。では、AI時代に求められる人間の知性とは、いったいどのようなものなのでしょうか。

第一に注目したいのは「批判的思考力（クリティカルシンキング）」です。AIは膨大なデータをもとに合理的な分析や判断を下す能力に優れていますが、その出力結果が常に正解とは限りません。人間の側が「このデータは本当に信頼できるのか」「背後にどんな偏りや限界があるのか」といった問いを投げかけ、結論を検証するプロセスが不可欠です。AIの提案を鵜呑みにするのではなく、別の視点や可能性を考慮し、自分の頭で批判的に考える姿勢こそが、人間の強みとなるのです。

第二に重要なのが「創造性（クリエイティビティ）」です。AIはこれまでのデータや事例を学習し、そこから最適な答えを導き出すことを得意とします。しかし、まったく新しいアイデアをゼロから生み出す力にはまだ限界があります。これまでになかった切り口で問題を捉え、新しい価値を創造する柔軟な発想こそ、人間がAIに勝る領域といえます。実験的なアート作品や革新的な科学的発見など、人間の創造性が今後さらに注目されるでしょう。

第三に挙げられるのは「共感力とコミュニケーション能力」です。AIがいくら高度に進化しても、現段階では人間の気持ちを完全に理解したり、相手の感情に寄り添ったりすることは難しいとされています。人間同士が協力して課題を解決するためには、お互いを思いやり、状況や立場を踏まえて言葉を交わす必要があります。人の本音を引き出したり、多様なバックグラウンドを持つ相手と橋渡しをしたりするのは、人間ならではのコミュニケーション能力の賜物です。AIが多くの業務をサポートしても、最後の決定や調整は人間同士の対話が鍵を握る場面が増えていくでしょう。

そして、これらに加えて近年とくに注目されるのが、AIをうまく活用するための「質問力」と「語彙力」です。AIが非常に優れた情報分析や応答生成をしてくれる一方で、それは「どんな質問を与えるか」によって結果が大きく左右されます。質問があいまいであれば、AIも答えを十分に絞り込めません。逆に、目的を明確にし、「何を知りたいのか」「どのような観点で答えてほしいのか」を具体的な言葉で伝えられるほど、AIはよ

り的確な情報や視点を提供してくれます。ここで重要になるのが、豊かな語彙力を駆使して、疑問や条件を正確に表現する力です。「語彙力」が豊かな人ほど、思考を細やかに整理し、必要な問いを組み立てることができるため、AIを最大限活用できるといえるのです。

こうしたAI時代に必要とされる能力は、学校の学習や部活動、そして日々の生活のなかで少しずつ育まれます。授業で学んだ知識をただ暗記するだけでなく、「なぜそうなるのか」「この知識はどのように他の領域に応用できるのか」と自分なりに問いを立てることで批判的思考力が鍛えられます。友人や教員との議論を通じて、新しいアイデアを模索するうちに創造性が培われるでしょう。また、部活動や地域の活動で人と協力するときには、相手の気持ちを汲み取る共感力と、言葉によって意思疎通を図るコミュニケーション能力が必須です。そして、普段から読書や執筆、プレゼンテーションなどを行うことで語彙力を増やし、AIに向けて的確な質問を考える訓練をしてみてください。

AIがますます高度化するこれからの社会においては、AIの力を借りつつも、最終的に物事を判断し、責任を持って行動できる人が必要とされます。そこには、批判的思考力、創造性、共感力、コミュニケーション能力、そして質問力や語彙力といった人間らしい知性が欠かせません。自分が「何を学ぶのか」「どう社会に貢献したいのか」を考えながら、多角的に物事を捉え、言葉を使ってAIを上手に活用しつつ、人とのつながりも深めていく。そのような姿勢を大切にすれば、AIと共存しながらも、人間がより豊かな未来を切り開いていくことができるはずです。

以上の文章は、ChatGPTに『AI時代に求められる人間の知性』というタイトルで、高校生向けに1800字程度の文章を作成してください。」と入力して、数秒で出力されたものです（出力された後に、若干やりとりをして、更に修正を加えています）。人間がこの文章を作成するのに何時間かかるのでしょうか。この文章に書かれている通り、今後の社会において、人間に求められるのは、AIの力を借りつつも、最終的に物事を判断し、責任を持って行動できる力です。また、どんな質問をすればよいのか考えることができるだけの思考力と語彙力が求められます。それらの力を養っていく必要はありますが、使わないのは勿体ないです。今のAIは入力すればするだけ、どんどん進化していきます。個人情報などを入力しないように注意する必要がありますが、専門的な知識など必要なく、普通の文章で構いません。自分の思考を広げるツールとして、より豊かな未来を切り開いていくために、ぜひChatGPTを初めとしたAIを活用してみたいかがでしょうか。（編集者）

一貫校 中学校 だより

6年6色

－ 第4学年の総合探究 －

4年次では、5年次で具体的に各自のテーマについて探究するための前段階としての学習をしています。そもそも「探究学習」とは何か、「探究学習で身につくことはどんな力」か、また、その力を「どのように生かしていくか」など根本的なことから考えています。その「考えるためのさまざまな技法」(シンキングツール)も学んでいます。

1学期は主に「課題の設定」「情報の収集」の方法、2学期は「整理・分析」の技法の習得から、「課題設定」の方法と、それをどう「表現するか」を研究しました。3学期は全体の「まとめ」をして5年次に繋がりたいと思います。「情報の収集」の一つとしての「インタビューの方法」や表現を学ぶために、実際に発表されている「学術論文を読む」などなかなか高度な内容です。また、分析方法では「定量分析」「定性分析」などの方法とその結果をどう表現していくか、どう可視化するかなど、グラフや表の特徴とその作成方法なども学習しました。

この一年間の学習を通し、5年次では各自がそれぞれの興味関心の中から「探究の課題」を見つけ、有意義な「探究学習」になるよう、期待しています。

4学年主任 阿久澤純江

－ 5年総合探究 －

5学年の総合探究では本校の2学年と同様に週に1時間「グループ研究」の時間を設けて、探究活動を行っています。4月は昨年度の優秀グループによる発表を聞き、5月は大学教授による出前講座を拝聴して課題設定や研究手法のヒントを得ました。6月からは興味関心が似ている生徒たち4、5人でグループを編成し、班ごとに課題設定を検討しました。高校生の探究活動においては知識、時間、設備なども限られており、困難な課題をどう解決したかということよりも、高校生のレベルで探究できる課題をどう設定したかが最も重要になってきます。そのため、課題発見に時間をかけ丁寧に進めました。テーマ決定後は文献やインターネットを通じて情報の収集、実験やアンケートを実際にとることで客観的事実を明確化して情報の整理・分析を行いました。12月には本校生と一貫校生が講堂に集まってパネルを使ったポスターによる研究発表を行いました。当日は、大学教授に直接助言を頂いたり、他の生徒たちからの意見を聞くことで、新たな課題を発見できたり、より良いアイデアを想像できたりしました。3学期は研究発表について振り返りを行い、来年度の個人研究に向けてブラッシュアップしていきたいと思っています。

5学年主任 家住 誠

◆落ち葉清掃

今年度の落ち葉清掃では、新たに〈Enjoy! Clean Up Challenge〉という取り組みを実施しました。

〈Enjoy! Clean Up Challenge〉は中学1～3年生の勢至会(クラス委員長・クラス副委員長・書記)発案のプロジェクトで、放課後などの時間を使って企画をすすめました。当日は落ち葉の量をはじめとした複数の観点で、クラス対抗戦をおこないました。

〈生徒の感想〉

- ・ 仲間で協力してコミュニケーションをとりながら行ったから絆が深まった。
- ・ 掃除が終わったあとにみんなでここが良かったという話し合いをすることができた。
- ・ 来年度は、一貫校にしかできない、中学生と高校生の組み合わせで実施してみたい。

▽活動の様子



▽生徒作成のポスター



幼稚園だより

春に向けて～今年度の締めくくいを

1年の中で最も寒さが厳しいと言われる「大寒」も過ぎ、幼稚園の周りの樹木や草花からは、少しずつ春に向けての準備が感じられます。そのような中、子どもたちは寒さに負けずに、元気いっぱい活動に取り組んだり、遊んだりして幼稚園生活を楽しています。

今年度も残り2か月となりました。年長組の子どもたちにとっては小学校の入学に向けて準備が進められ、4月からの生活に期待と不安が少しずつ出てくる頃です。子どもたちが幼稚園で身に付けた資質や能力を小学校教育で自信をもって発揮できるように、我々教職員は、卒園までしっかりと教育活動を行い、幼稚園教育の締めくくりに努めたいです。

◆「発達障害」と間違われる子どもたち (冬季研修会より)

たくさん子どもたちと毎日関わっている保育士や幼稚園教諭は、日々子どもたちにどのように関われば良いのか、どのような対応をすれば良いのかを悩みながら、毎日の教育活動や保育に取り組んでいることと思います。この度、群馬県私立幼稚園・認定こども園協会主催の冬季研修会において、「『発達障害』と間違われる子どもたち」というテーマで、文教大学教育学部教授 成田奈緒子先生の講義がありました。とても参考になるお話でしたので、一部紹介させていただきます。

成田先生は、小児科医として、長年発達障害をはじめとする子どもの脳の発達による問題に向き合い、子どもの発達について研究する科学者でもあります。そして現在は、発達障害や不登校等、さまざまな不安や悩みを抱える親子・当事者の支援事業「子育て科学アクシス」を主宰し、すでに2000組を超える家族の相談にのってきた先生です。

成田先生は、「発達障害もどき」という言葉を使います。学校などから、この子は「発達障害では？」と指摘されて、成田先生に相談に来る事例の中には、医学的には発達障害の診断がつかない例も



数多く含まれ、そのような例を「発達障害もどき」と呼んでいるそうです。小学校入学前までの幼児期に多く見られるということです。

発達障害もどきを改善するには、「子どもの脳育て」をしていくことが必要とのことです。脳の発達には、脳の一番中心にある「からだの脳」、その次が大脳にある「おりこうさん脳」、最後に育つのが前頭葉にある「こころの脳」の順で発達し、生まれてから約18年かけて、さまざまな機能を獲得していくとのことです。そのような中で、0歳から5歳の間に盛んに育つ脳で、生きていく上で欠かせない機能を担う「からだの脳」を育てることが大事であり、5歳まではおりこうさん脳ばかりを刺激することなく、からだの脳を優先して育てることが脳のバランスを崩さず、健全な脳の発達につながられるそうです。

そして、からだの脳を育てるのに最も重要なのは、五感からの刺激で、それらの刺激を一番効率よく、たくさん入れられるのが「規則正しい生活の繰り返し」だそうです。生活改善に欠かせない三つのポイントとして、「朝日を浴びる」「十分に寝る」「規則正しい時間に食べる」を提案しています。十分な睡眠を取れるように生活改善をしたことで、気になる行動が消えた子がたくさんいると、成田先生は伝えています。そして、子どもの生活を改善するということは、親の生活を改善することでもあり付け加えています。成田先生のお話は、とても納得できることばかりで参考になりました。

もっと詳しく成田先生の説明を知りたい方は、青春出版社より成田奈緒子先生が「『発達障害』と間違われる子どもたち」という本を出しておられますので、読んでみるととても参考になると思います。

園長 佐野 悦生



入園児募集中

- ◎2歳・満3歳・3歳児の入園をお待ちしています。
 - ◎募集人員 2歳児 10名、満3歳児 10名、3歳児 10名
 - 入園受付：1年を通して随時受付、入園できます。見学もいつでもできます。
- お問い合わせは、樹徳幼稚園 佐野まで。 TEL：0277-53-5571
住所：桐生市広沢町三丁目4475番地
ホームページ <https://www.jutoku.ed.jp/kinder/>

2月(忍辱)の行事予定

日	曜日	高等学校(本校)	一 貫 校	幼 稚 園
1	土	入学手続き① 推薦・学奨入学追試験		開園日(預かり保育)
2	日		中学高校 生徒登校日 1・2年節分会 3年語学研修発表会 授業参観	大節分会(大善寺)
3	月	安全点検(推薦・学奨入学追試験審査準備会・審査会)		大節分会の代休日
4	火	マイトリ-基金抛金日 後援会役員会④ 2年生ベネッセ大学入学共通テスト模試(～8日)	マイトリ-基金抛金日 校内安全点検日	新入園児生活説明会(～7日) 安全点検日
5	水	探究・LHR 授業料納入日(3年2・3月分) 第3回諸費納入日 県校長会	授業料納入日(6年2・3月分)	英語・文字(年長)
6	木			体育・文字(年中)
7	金	3年担任宛成績提出(13:00) 漢字検定③ 私学保護者会連合会理事会(県央)	6年担任宛成績提出13:00	線(年少)
8	土		第三期中学入試(管理職出勤) 5年進研共通テスト模試 数検③	開園日(預かり保育)
9	日	掘マラソン	掘マラソン	
10	月	朝礼 教務宛成績提出(13:00) 3年生家庭学習指導 教科主任会⑨ (推薦・学奨入学追試験合格発表日)	中学朝礼/高校LHR 高校 教務宛成績提出13:00	涅槃会(大善寺) 保育料納入日
11	火	建国記念の日		
12	水	3年生家庭学習開始 探究・LHR	6年生家庭学習開始	お茶のお稽古⑦(年長) 英語
13	木	1年生班別探究学習(横浜) 2年生進路ガイダンス	1・2年スキー教室(～14日)	体育・文字(年中)
14	金			お誕生会(1・2・3月生まれ)
15	土	涅槃会	涅槃会	開園日(預かり保育)
16	日			
17	月	学年主任会⑩	中学LHR/高校朝礼 2年華道教室 雛人形飾り・お役に立とう週間(～21日)	リズム・線(年少)
18	火	卒業成績会議(15:00～)	高校 卒業成績会議15:00 3年 茶道教室	ボール投げ教室⑨測定(年中・年長)
19	水	探究・LHR 日私中高連常任理事会	2年生華道教室 立志式	英語・文字(年長)
20	木	制服アフターサービス	三越アフターサービス	体育・文字(年中)
21	金			文字(年長)
22	土		入学説明会	開園日(預かり保育)
23	日	天皇誕生日		
24	月	振替休日		
25	火			たけ組保育参観
26	水	探究・LHR	中学 早朝自主学習開始	さくら組保育参観
27	木	卒業式会場作成 7時限大掃除	高校 卒業式会場作成	もも組保育参観
28	金	卒業式予行演習・予餞会 出欠統計提出	高校卒業式予行演習・予餞会	ひよこ・すみれ組保育参観

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の状況により予定が変更されることがあります。



桐生錦町一丁目

盛運橋薬局前

■ 樹徳コミュニティセンター「み法」

介護クラブ株式会社 代表 山守 千登世さん
施設利用者の作品展示会
3月15日(土)・16日(日)
10:30～15:30

3月(智慧)の行事予定

日	曜日	高等学校(本校)	一 貫 校	幼 稚 園
1	土	卒業式 校内安全点検 数学検定②	高校卒業式	開園日(預かり保育)
2	日		英検③(二次)	
3	月	振替休日(3/1)	振替休日	安全点検日
4	火	学年末試験(~7日) 職員集会(14:30~)	高校 学年末試験(~7日) 自主学習DAY	文字(年長)
5	水	授業料納入日 マイトリー基金拠金日	中学 学年末総まとめテスト(~7日) 授業料納入日 マイトリー基金拠金日	お茶のお稽古発表会(年長親子)
6	木			体育・文字(年中)
7	金	制服アフターサービス	三越アフターサービス	お別れ遠足
8	土			開園日(預かり保育)
9	日			
10	月	写真撮影(1・2年生) 運営委員会⑥	中学朝礼/高校LHR 写真撮影(1・2・4・5年生)	保育料納入日 リズム・線(年少)
11	火	地震防護・防火避難訓練②	中学保護者会	
12	水	大学合格体験報告会		英語・文字(年長)
13	木			お別れ会練習
14	金	担任宛成績提出(13:00) 第3回法人役員会(13:30~)	担任宛成績提出13:00	お別れ会
15	土			開園日(預かり保育)
16	日			
17	月	視聴覚教室(10:30~) 教科主任会⑩ 教務宛成績提出	中学LHR/高校LHR 視聴覚教室13:30~ 高校教務宛成績提出13:00	リズム・線(年少)
18	火	入学手続き②(10:00) 成績会議(14:00)	高校成績会議14:00~	卒園式予行練習 保護者謝恩会準備
19	水	市街地清掃(通算98回目) 出欠統計提出 三学期出欠締切 日私中高連常任理事会/評議会	高校市街地清掃(通算97回目) 3学期出欠締切	第72回卒園式・謝恩会
20	木	春分の日		
21	金	終業式(大掃除・学年別一斉指導)	終業式・大掃除 中学校卒業証書伝達式	卒園児預かり保育① 文字(年中)
22	土			開園日(預かり保育)
23	日			
24	月	生徒春休み 奨学生審査会③ 部活動強化宿泊開始	生徒春休み 中学・高校補習① 中学校学習支援期間① 中高一貫学力向上会議	卒園児預かり保育② リズム・線(年中)
25	火	学籍整理・年度末事務 運営委員会⑦9:30~	中学・高校補習②/中学校学習支援期間② 学籍整理・年度末事務	卒業児預かり保育③
26	水	学籍整理・年度末事務 学年主任会議9:00~ 教科主任会議10:00~ 新入生進学クラスオリエンテーション13:00~	中学・高校補習③/中学校学習支援期間③ 学籍整理・年度末事務	令和6年度修了式 卒業児預かり保育④
27	木	新採用者事前研修 学籍整理・年度末事務	学籍整理・年度末事務	春休み①(~4/7) 預かり保育①卒園児預かり保育⑤
28	金	学籍整理・年度末事務	学籍整理・年度末事務	春休み② 預かり保育②卒園児預かり保育⑥
29	土			開園日(預かり保育)
30	日			
31	月	学籍整理・年度末事務	学籍整理・年度末事務	春休み③ 預かり保育③卒園児預かり保育⑦



樹徳高等学校

樹徳中学校

樹徳幼稚園

〒376-0023 群馬県桐生市錦町一丁目1番20号
TEL 0277-45-2258 FAX 0277-47-1671 Mail j-koukou@jutoku.ed.jp

〒376-0022 群馬県桐生市稲荷町4-12
TEL 0277-45-2257 FAX 0277-45-2262 Mail j-chugaku@jutoku.ed.jp

〒376-0013 群馬県桐生市広沢町三丁目4475
TEL 0277-53-5571 FAX 0277-53-5572 Mail j-youtien@jutoku.ed.jp

Web <https://www.jutoku.ed.jp/>

発行責任者 野口 秀樹 印刷所 太陽印刷工業(株)

夢は大きく 根はふかく